

## より良い病院づくりのために患者満足度調査を実施しました

当院では、2023年10月に患者満足度調査を実施しました。ご協力いただいた患者様、ご家族の皆様にお礼を申し上げます。下記に総合的な設問に対する調査結果を報告いたします。

### ●アンケート実施期間

入院：2023年10月16日～31日

外来：2023年10月16日～24日

### ●回答数

入院：84件

外来：415件

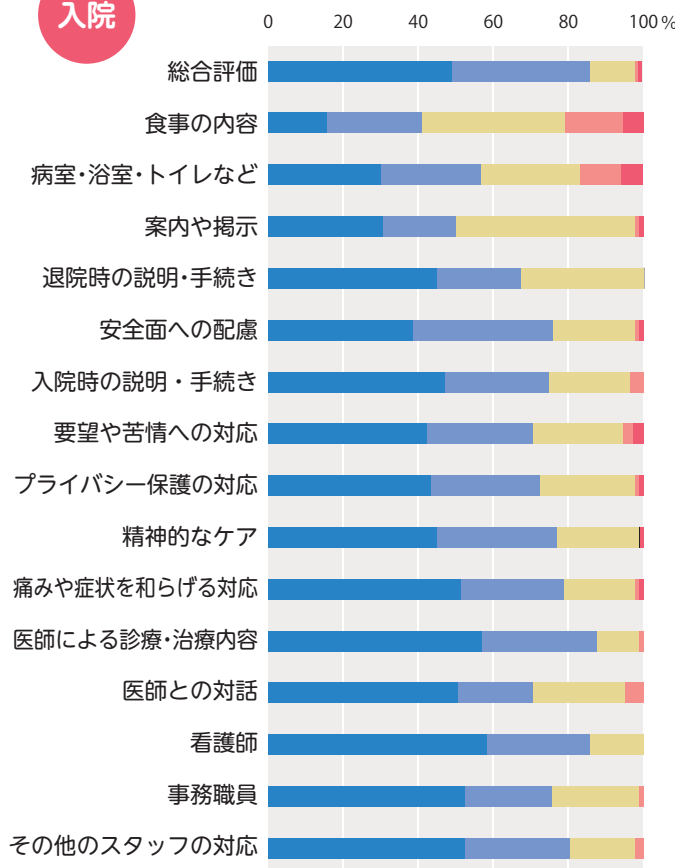
### 調査結果について

総合評価は、入院では約85%、外来では75%の方から「とても満足」「やや満足」という回答を頂きました。

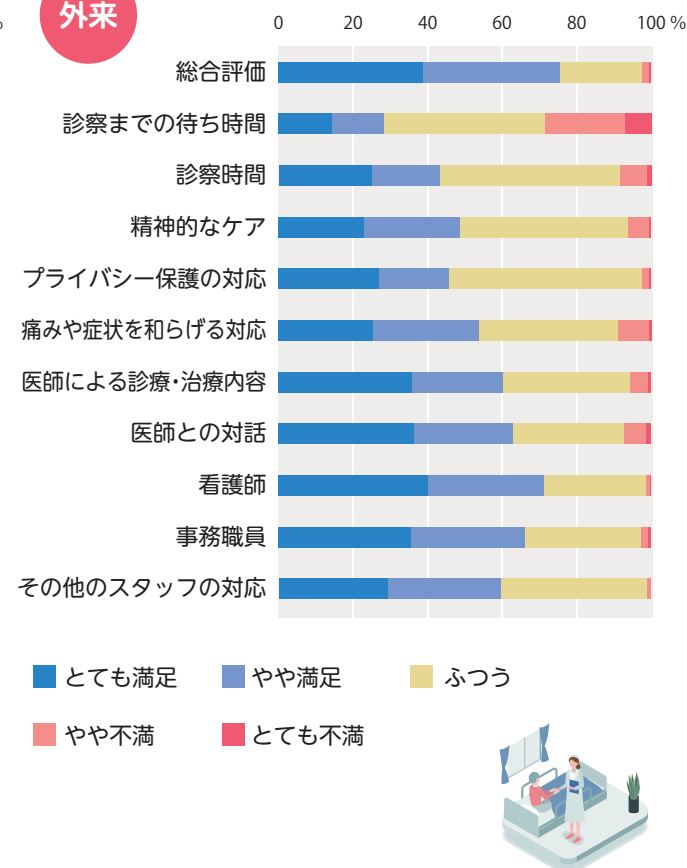
また、入院では病院食や病室などハード面に関する項目、外来では待ち時間に関する項目が、他の項目に比べて満足度がやや低い結果でした。調査項目にはありませんが、駐車場についての自由記載では、多くの方から利便性が悪いとご意見を頂きました。

今回の調査を通じて、皆さまからいただいた評価、ご意見を病院内職員で共有し、今後とも、より良い病院づくりに取り組んでまいります。

### 入院



### 外来



■ とても満足 ■ やや満足 ■ ふつう  
■ やや不満 ■ とても不満



## 東館増築工事が完成しました



この度、一昨年より工事を進めておりました東館増築工事が完成しました。工事期間中は何かとご不便とご迷惑をおかけしましたことお詫び致します。

東館の1階は外来診療フロアで、15室の診察室を備えており、整形外科と産婦人科を除く診療科の診察を行います。

2階、3階、4階には合計94床の病床を整備し、これまで北館2階と3階にあった急性期病床を移転させました。

新病棟は、個室の数を大幅に増やしており、重症者対応や手術後のケア、感染症対応など、急性期医療に対応できるような設備を整えています。

特定医療法人 誠仁会

## 大久保病院

〒674-0051 明石市大久保町大窪2095-1

tel. (078) 935-2563



財団法人  
日本医療機能評価機構  
認定書受領



当院専用  
バス有り  
詳細は当院  
ホームページ

### 交通機関をご利用の方

- JR山陽本線「大久保」駅下車、北へ徒歩15分
- 「大久保」駅北口より神姫バス
- ②のりば 19「山手台」行き
- ③のりば 12「西神中央」駅、「上岩岡」、「五百蔵」行き「山手小学校前」バス停下車、東へ徒歩5分

### 車をご利用の方

- 第二神明道路「大久保IC」より、大久保方面へ約10分

大久保病院だよりは  
ホームページでもご覧になれます  
<http://www.seijinkai.or.jp/okubo/index.html>



地域医療に  
想いをかけて

## 新任医師紹介

婦人科 川田 悦子

2023年11月より産婦人科で勤務しております川田悦子です。産婦人科医としてこれまで京都、大阪、神戸と近畿各地の病院で勤務し、妊娠分娩などの産科領域と子宮付属器腫瘍や悪性疾患、更年期などの婦人科領域ともに手術も含め幅広く診療してきました。

子宮頸癌は早期発見治療できる疾患ですが、まだ子宮頸癌検診を受けたことがない方もおられるかと思えます。また、月経に関する症状があるものの、我慢されている方も多く見受けられます。産婦人科受診に抵抗があるかと思えますが、そういった方々もまずは受診いただき少しでも楽に過ごせるようにお手伝いできればと思います。

今後も日々勉強しながら患者さん一人ひとりに合った適切な医療を提供できるよう努めて参りますので、よろしくお願いいたします。



4年ぶりの  
通常開催

## 大久保北健康まつり



べんの  
辨野義己先生(上)と  
記念講演会場



各測定会場

10月28日(土)第27回大久保北健康まつり(主催:大久保北コミュニティ・センター、後援:大久保病院)が開催されました。今年度も天候に恵まれ約350名の地域の方々にお越しいただきました。

今回の記念講演では一般財団法人辨野腸内フローラ研究所理事長の辨野義己先生に「腸内環境を整える」～健康寿命100歳を目指そう!～をテーマに腸内環境の重要性等わかりやすくご講演いただきました。講演後に各コーナーにて動脈硬化測定・骨密度測定・健康測定・リラクゼーションコーナー・食事の展示と試食・介護相談コーナーなど数多くの方に参加いただきました。今回初めて百貨店からスイーツの移動販売も来られて多くの方に好評いただきました。また、保健医療相談コーナーでは内科医・整形外科医が担当し、相談内容に合わせて専門の医師がアドバイスをされ大変喜んでいただきました。



スイーツの  
移動販売

## 正しい時間に正しく飲もう

「薬をいつ飲んだらいいか」は、「いつ飲むと吸収がよいか」や「いつ飲むと一番飲み忘れないか」などによって決められています。多くの薬は、食前・食後・食間とも吸収にあまり差がないため、一番飲み忘れが少ないとされる食後服用になっていますが、薬の性質によって必ずその時間に服用しなければならないものもあります。正しい飲み方をしないと、効果がでなかったり副作用が現れたりすることがありますので、決められた服用時間を守りましょう。下記は目安です。



## リハビリ通信

リハビリテーション科

### 第4回 足の力をつけて生き生きとした生活を!

①太ももの前の筋肉を鍛える



②足首の筋肉を鍛える



- 痛みや疲労感を感じた場合はすぐに中止してください。
- 各3秒ずつ、1セット15～20回で、2～3セット行いましょう。
- 無理なく続けましょう。

年を取ると、膝や股関節などの関節の病気になる人が増加します。

高齢者が要支援者(要支援1・2)になる原因の第一位は、関節の病気です。痛みや歩きにくくなることで、自立した生活が難しくなります。

代表的な病気の一つに変形性膝関節症があります。膝の軟骨が少しずつ減少して、変形したり、骨がこすれて、痛みが起こる病気です。症状としては、痛みや水がたまる、こわばりなどが生じます。40歳以上を対象とした研究で、膝関節の変形は、男性42.6%、女性62.4%にみられたという報告があります。しかしながら、関節に変形があったとしても、7～8割の人は痛みを生じない状態です。

この病気の予防や進行を緩やかにするために、運動が有効とされています。

そこで今回は、理学療法士が足の筋肉を鍛える運動を紹介します。